

第7回 福岡ライフセービング選手権大会

実施報告書



2025年5月11日

特定非営利活動法人 福岡県ライフセービング協会

■大会概要

大会名称：第 7 回福岡ライフセービング選手権大会 【略称：福岡大会 2025】

会 場：シーサイドももち海浜公園百道浜東側地区（福岡県福岡市早良区）

開催日程：2025 年 5 月 11 日（日）

主 催：特定非営利活動法人 福岡県ライフセービング協会

後 援：福岡県、福岡市

協 力：(公財)日本ライフセービング協会、九州産業大学ライフセービングクラブ、(特非)
新宮ライフセービングクラブ、福岡ライフセービングクラブ、福岡大学ライフセ
ービングクラブ、福間サンセットショアライフセービングクラブ、博多サーフラ
イフセービングクラブ、宗像ライフセービングクラブ

この大会は 2019 年に第 1 回を開催し、新型コロナウイルス感染症の影響により中止や縮小開催となる年もあったが、本年で第 7 回を迎えた。

本大会は、(公財)日本ライフセービング協会（以下、JLA）B 種認定競技会として、福岡県内はもとより福岡県近郊のライフセービング競技、ライフセービング全般の発展と福岡県内外ライフセーバー交流を目指して開催された。

自立運営が徐々に確立されてきており、テクニカルオフィシャル、安全オフィシャル、運営スタッフそれぞれにおいて、他組織からの金銭的支援をほぼ受けずに運営できた。選手は 60 名のエントリーがあり、選手・オフィシャル・スタッフ合計 75 名の関係者に加えて、通行人などが足を止めてなどの多数のご観戦をいただけた。

また、JLA 競技安全委員会 1 名の他、テクニカルオフィシャル・安全オフィシャルにおいてそれぞれ 1 名の講師にお越しいただき、技術的・知識的な多くのご指導を賜り、安全かつスムーズな大会運営につながった。

さらに大会前日には、C 級審判員養成講習会を開催して 8 名の新たな審判員が誕生し、サーフクリニックを開催して 8 名がオーシャン競技の技術について学び、会場設営時にはテクニカルオフィシャル、安全オフィシャルの知識・技術拡大を図り、ライフセービング競技の発展と知識・技術伝承の機会となった。

■スケジュール

5月10日(土)

時間	内容	場所
9:00-17:00	C級審判員養成講習会	そびあしんぐう（糟屋郡新宮町）
10:00-12:00	サーフクリニック	シーサイドももち海浜公園百道浜東側地区（福岡市早良区）
13:00-17:00	会場設営	シーサイドももち海浜公園百道浜東側地区（福岡市早良区）

5月11日(日)

開始	種目
7:00	安全オフィシャル集合
8:00	テクニカルオフィシャル・運営スタッフ集合
8:30	代表者会議
9:00	開会式
9:12	ボードレース(男子)【予選】
9:56	ビーチフラッグス(男子)【1次予選】
10:44	サーフレース(女子)(男子)【決勝】
11:09	ビーチスプリント(男子)【予選】・(女子)【決勝】
11:36	ボードレスキュー【決勝】
11:50	ビーチフラッグス(男子)【2次予選】
12:10	昼休憩
12:41	ボードレース(女子)(男子)【決勝】
13:07	ビーチスプリント(男子)【決勝】
13:22	レスキューチューブレスキュー【決勝】
13:38	ビーチフラッグス(女子)(男子)【決勝】
14:25	ボーダリレー【決勝】
14:52	ビーチリレー【決勝】
15:20	閉会式

潮汐：大潮 満潮 8:41 干潮 15:04

■大会役員・競技運営役員

●大会役員				
大会会長	田原 幸佑	県協会理事長		
大会副会長	鈴木 裕介	県協会副理事長		
大会役員	谷川 晃子	県協会理事		
	中山 省悟	県協会理事		
	藤本 航軌	県協会理事		
●競技運営審判				
チーフレフリー	栗栖 清浩	大阪LSC		
デビュティー チーフレフリー	大北 奈々恵	県協会競技運営委員会委員長		
ヘッドスコアラー	田原 幸佑			
ビデオ審判記録員	○隈河 丈瑠	木村 慎吾	大住 菜々海	森 裕陽
IRB審判員	○長野 翼			
スターター	○古川 雅貴	小谷 陸	米倉 康平	峰松 智弘
マーシャル	○岡本 一汰	中村 心春	篠原 大空	高橋 優太
コースジャッジ	○安永 悠真	佐藤 紗子	榎屋 桃花	pm久篠 美佳
	山尾 拓樹	江里口 太陽	梅木 優歩	久保田 翔栄
	山本 三奈			
フィニッシュジャッジ	○松永 佳祐	三村 碧	荒川 惣一朗	園田 煌梨
レコーダー	○松田 啓吾	村中 伶瓈	椿 晃瑠	藤本 力
伝令	○松島 佑歩	山浦 拓斗	大場 爽太	加藤 空流
●総務				
安全オフィシャル	○中山 省悟	浦 公大	石橋 知大	野原 秀峰
	川本 耀介	青木 直	西村 魁人	富士瀬 修人
	朝海 鳩真	米満 零	小岩 丈二	樋木 大輔
	吉田 悠士			
安全オフィシャル 指導	○鈴木 慎一	新宮 LSC・西浜 SLSC		
	橋本 和樹	JLA 競技安全委員会		
事務局	○田原 幸佑	鈴木 裕介	谷川 晃子	藤本 航軌
オフィシャルカメラ	白垣 真由美	福岡 LSC		

※ 下線は兼選手。○は各セクションリーダー。

■大会会場



大会会場であるシーサイドももち海浜公園は、福岡タワー、福岡市博物館、福岡PayPayドームなど、福岡のシンボルが集まる市街地西部のシーサイドエリアとなる。天神からバスで約15分と、都心からすぐにアクセスできるリフレッシュエリアとしても大人気である。また、親子連れでもカップルでも、みんなで楽しめるスポットが満載である。

シーサイドももち海浜公園・百道浜地区の海辺であり、福岡タワーの北側に広がっているその砂浜の中央（マリゾン）には、レストランや結婚式場、マリンスポーツショップなどがあり、都会的な賑わいのある、おしゃれなビーチである。夏は、海や砂浜を楽しむ人が多く訪れ、また、ビーチバレー、ビーチサッカー、タッチラグビーなどのビーチスポーツのメッカとしても良く利用されている。

また、福岡タワーなど福岡観光の人気スポットでもあることから、諸外国からの観光客も多く押し寄せ、シーサイドももちにも多くの諸外国の観光客が足を運んでいる。

シーサイドももち海浜公園百道浜東側地区では、2017年からライフセーバーによる夏季パトロールが開始され、海を楽しむ人の安全を守っている。また、2017年から2019年には、国内唯一の国際大会であった「三洋物産インターナショナルライフセービングカップ」が開催された。

■参加者

- ・C級審判員養成講習会

講師：1名、受講者：8名

- ・サーフクリニック

講師：1名、受講者：7名

- ・会場設営

参加者：42名

- ・大会当日

選手：6チーム59名

都道府県	所属	人数
大阪府	大阪ライフセービングクラブ	1
福岡県	新宮ライフセービングクラブ	8
福岡県	福岡大学ライフセービングクラブ	26
大分県	大分市ライフセービングクラブ	8
神奈川県	西浜サーフライフセービングクラブ	1
福岡県	九州産業大学ライフセービングクラブ	15

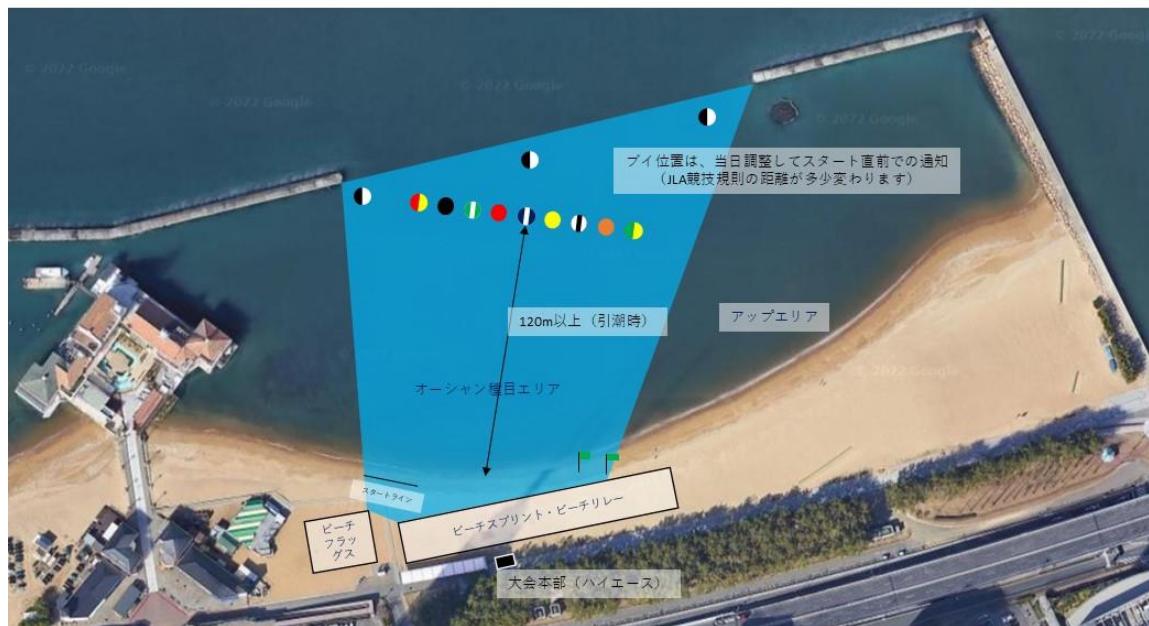
安全オフィシャル：15名(うち選手兼務：11名、安全課指導：2名)

テクニカルオフィシャル：37名(うち選手兼務：28名、審判員指導：1名)

運営スタッフ：3名

■会場図

第7回福岡ライフセービング選手権大会 2025 レイアウト



■競技結果

チーム総合【総合成績】

順位	チーム	個人種目	チーム種目	総合
1	新宮ライフセービングクラブ	45	30	75
2	福岡大学ライフセービングクラブ	46	29	75
3	九州産業大学ライフセービングクラブ	13	22	35
4	大分市ライフセービングクラブ	13	17	30
5	西浜サーフライフセービングクラブ	16	0	16
6	大阪ライフセービングクラブ	0	0	0

個人種目

サーフレース（女子）

- 1位：園田 煌梨 (福岡大LSC)
2位：中村 心春 (福岡大LSC)
3位：大住 菜々海 (福岡大LSC)

サーフレース（男子）

- 1位：石田 周也 (新宮LSC)
2位：山浦 拓斗 (福岡大LSC)
3位：江里口 太陽 (福岡大LSC)
4位：大場 爽太 (福岡大LSC)
5位：古川 雅貴 (福岡大LSC)
6位：木村 慎吾 (九産大LSC)
7位：奥村 大晟 (大分市LSC)
8位：松村 優翔 (福岡大LSC)

ボードレース（女子）

- 1位：園田 煌梨 (福岡大LSC)
2位：山本 三奈 (新宮LSC)
3位：中村 心春 (福岡大LSC)
4位：大住 菜々海 (福岡大LSC)

ボードレース（男子）

- 1位：石田 周也 (新宮LSC)
2位：藤本 力 (新宮LSC)
3位：大場 爽太 (福岡大LSC)
4位：米倉 康平 (福岡大LSC)
5位：山崎 雄大 (大分市LSC)
6位：佐藤 雄太 (新宮LSC)
7位：山浦 拓斗 (福岡大LSC)
8位：浅野 悠斗 (大分市LSC)

ビーチフラッグス（女子）

- 1位：山本 三奈（新宮LSC）
- 2位：園田 煌梨（福岡大LSC）
- 3位：中村 心春（福岡大LSC）
- 4位：大住 菜々海（福岡大LSC）

ビーチフラッグス（男子）

- 1位：坂本 真徳（西浜SLSC）
- 2位：青木 直（福岡大LSC）
- 3位：岡本 一汰（福岡大LSC）
- 4位：西村 魁人（九産大LSC）
- 5位：乙田 天道（福岡大LSC）
- 6位：山尾 拓樹（福岡大LSC）
- 7位：黒川 優我（福岡大LSC）

ビーチスプリント（女子）

- 1位：山本 三奈（新宮LSC）

ビーチスプリント（男子）

- 1位：坂本 真徳（西浜SLSC）
- 2位：鶴山 武幸（大分市LSC）
- 3位：石橋 知大（新宮LSC）
- 4位：松島 佑歩（九産大LSC）
- 5位：高橋 優太（九産大LSC）
- 6位：森 裕陽（福岡大LSC）
- 7位：西村 魁人（九産大LSC）
- 8位：富士瀬 修人（九産大LSC）

チーム種目

レスキューチューブレスキュー

- 1位：新宮ライフセービングクラブ
- 2位：福岡大学ライフセービングクラブA
- 3位：九州産業大学ライフセービングクラブA
- 4位：大分市ライフセービングクラブ
- 5位：福岡大学ライフセービングクラブB
- 6位：九州産業大学ライフセービングクラブB

ボードリレー

- 1位：新宮ライフセービングクラブ
- 2位：福岡大学ライフセービングクラブA
- 3位：大分市ライフセービングクラブ
- 4位：九州産業大学ライフセービングクラブ

- 5位：福岡大学ライフセービングクラブB
ビーチリレー
- 1位：福岡大学ライフセービングクラブA
2位：九州産業大学ライフセービングクラブA
3位：新宮ライフセービングクラブ
4位：福岡大学ライフセービングクラブB
5位：九州産業大学ライフセービングクラブB
- ボードレスキー
- 1位：新宮ライフセービングクラブ
2位：福岡大学ライフセービングクラブB
3位：大分市ライフセービングクラブ
4位：福岡大学ライフセービングクラブA
5位：九州産業大学ライフセービングクラブB
6位：九州産業大学ライフセービングクラブA

■写真

C級審判員養成講習会（大会前日）



サーフクリニック（大会前日）



会場設営（大会前日）



ボードレース



ビーチフラッグス



サーフレース



ビーチスプリント



ボードレスキュー



レスキューチューブレスキュー



ボーダリレー



ビーチリレー



安全オフィシャル



テクニカルオフィシャル



開会式・閉会式



ジュニア乗船体験



■過去の実績

第6回（2024.6.23(日)開催）

シーサイドももち海浜公園百道浜東側地区（福岡県福岡市早良区）

第5回（2023.6.4(日)開催）

シーサイドももち海浜公園百道浜東側地区（福岡県福岡市早良区）

第4回（2022.6.12(日)開催）

シーサイドももち海浜公園百道浜東側地区（福岡県福岡市早良区）

第3回（コロナ禍により延期→開催中止）

開催中止

第2回（コロナ禍により延期→2020.9.20(日)縮小開催）

新宮海岸（福岡県糟屋郡新宮町）

第1回（2019.5.12(日)開催）

シーサイドももち海浜公園百道浜東側地区（福岡県福岡市早良区）

以 上